

# 児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

## 保護者評価

2024年 1月  
にこにこハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、  
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者95%（21名/22名：回収数/配布数）

### ＜調査からの読み取り・改善点＞

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	いずれの項目においても好評の意見が多く頂いているが、「職員の配置数や専門性は適切であるか」「生活空間は本人に分かりやすい構造化された環境になっているか」の項目では、「わからない」「どちらともいえない」との意見も少数あった。	○にこにこ新聞やホームページ動画を活用している。またイベント等では、保護者へ写真を送ったりするなど、児童の過ごし方を公開していく。 ○毎日の清掃、消毒作業により清潔な空間が保たれるように配慮している。
適切な支援の提供	「活動プログラムが固定化しないように工夫されているか」の項目で「いろいろなイベントがあって楽しめると思う」という回答がある一方で「イベントを増やして欲しい」という回答もあった。保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるかについては、「わからない」「どちらともいえない」の意見が多くあった。	○月毎、曜日毎にミニプログラムを設定し取り組んでいる他、6月から保護者も参加できるアロマ教室を実施し、好評である。 ○保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動については、現在のところ実施しておらず、検討段階である。
保護者への説明等	連絡帳や保護者の方との話の中で、家庭での様子や事業所での様子のやり取りができ、情報共有が出来ている等、好評のご意見を頂いている。また「写真を共有してもらえたりするので、にこにこでの状況がよく分かる」という回答もいただいた。	今後とも日頃のやりとりや毎月発行する新聞・HP動画で、子どもたちや活動の様子がわかるように努めていく。また、課題の共通認識についても意識していく。 保護者同士の交流の機会については、求めている意見が多く、実施出来ない。
非常時等の対応	「非常災害に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」の項目において、「わからない」の回答が半数だった。避難場所や避難後のやりとり(連絡手段・お迎えが必要か等)も不明。という声もあった。	新型コロナウイルス等、感染症予防対策として、手洗い・換気・消毒等の予防対策を引き続き実施していく。 また、避難訓練についても年に2回(5月・11月)に水害・震災・火災を想定した避難訓練を実施している。避難場所や緊急時の対応について定期的に周知していく。
満足度	「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」では、お話ができたり、気持ちを伝えることができる児童の保護者さんからは「はい」の回答を頂いている。 ○お友達や先生の名前をたくさん覚えてきている ○安全に温かく預かってもらって助かっています。 ○初めは泣いていたが、今では泣かずに通うことができ、ジェスチャーでにこにこでやったこと等を教えてくれる。 などの声を頂いた。	満足度が低下しないよう、サービスの質の維持、向上を図っていく。 児童が楽しく安心して過ごせるよう、保護者の方が安心してお子様を預けられるよう、日々支援に励んでいきたい。 ニーズに合わせた活動や様々なイベントを今後も計画して、皆様に宣伝していく。